



地域おこし推進員って…みんな知ってる？

地域おこし推進員は、朝日、美流渡、毛陽、万字などの東部丘陵地域を活動地域とし、その地域に居住しながら、地域の人や団体などと協力し、地域資源の発掘・PR、地域活動への支援・協力など、それぞれの隊員の特性を生かした地域おこし活動を行っています。これまで3人が就任し、地域の魅力を発信する「みる・とーぶプロジェクト」に参画し、地域に住む人にスポットを当てた「みる・とーぶマップ」の制作、フォトコンテストの開催や空き家のリノベーション、旧朝日駅舎の復活プロジェクトなどさまざまな活動を行っています。

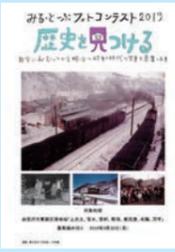
岩見沢市全体図



詳しくは市ホームページをご覧ください



みる・とーぶマップ
平成29年3月に、東部丘陵地域に住む人たちのイラストや店舗の情報などを手書きしたマップを作成。以降毎年更新



みる・とーぶフォトコンテスト
平成29年9月から、東部丘陵地域に関する写真を募集するイベントを毎年開催
※今年度は開催しません。



空き家のリノベーション
平成29年から、上美流渡にある空き家をリノベーションし、令和2年3月にゲストハウス兼イベントスペース「マルマド舎」としてオープン



朝日駅復活プロジェクト
平成30年から31年にかけて、地元の皆さんと、旧朝日駅舎の清掃やペンキの塗り直しを行い、令和元年6月にお披露目イベントとして朝日駅写真展を開催



せのようすけ 瀬尾 洋裕

岩見沢市地域おこし推進員
茨城県出身。山梨県内の高校から北海道教育大学岩見沢校に進学し、大学卒業後に札幌市の民間企業へ就職
令和2年4月、北海道教育大学大学院へ進学し、同年5月から地域おこし推進員として活動中

地域おこし推進員が
出演して説明します
9月11日(金)
午後5時40分



BMX (ビーエムエックス)

Bicycle Motocross (バイククロス) と呼ばれる自転車競技と、その競技に使用する自転車のこと。競技は、スピードを競うものと、ジャンプやトリックなどの技を競うものがあり、使用する自転車は、20インチの小さなホイールでリアブレーキのみ、ハンドルも特徴的な形をしている。

好きなことで貢献したい
小学生からBMXをやっている、競技会などにも出場していました。中学からは野球をやっていました。が、大学生になって愛好家の人たち

立てるのかを研究するために、人が集まる場所を作って、お客さん呼び、アンケートを取りながら進めていこうと思っていました。この地域おこし推進員の募集を知りました。もともと地域おこし推進員の活動に興味があったこと、東部丘陵地域に人がいて、毎週のように遊びに来ていて慣れ親しんだ土地でもあり、自分が好きなスポーツを通して、何か地域の役に立ちたいと思っていたので、思い切って応募してみました。

力を合わせて
札幌などには、BMXのコースがあつて、私も利用していましたが、コースの整備などは自分たちでやっていたので、スコップの使い方や土の盛り方などは、その時に覚えました。でも、一から作るの初めてだったので、見よう見まねで作っていましたが、札幌でお世話になった人たちが手伝ってくれたり、地域の人が手伝いに来てくれたりして、みんなの力を借りながらコースを作りました。8月にオープンすることができました。

と、もう一度遊びで乗り始めて、和気あいあいとした雰囲気が出て、改めてBMXが好きになりました。好きなことを地域の活性化につなげられないかと考えて、BMXのコースを作ることから始めました。

やに残したことを「J」で
北海道教育大学岩見沢校でいろいろな統計方法などを学んでいましたが、卒業論文に生かせませんでした。それがすごく悔しくて、就職してからも、いつかは大学院へ行き、勉強し直したいと思っていました。今年の春、大学院に進むことができると決まり、オフロードのサイクルスポーツがどのように地域の役に



やに残したことを「J」で

北海道教育大学岩見沢校でいろいろな統計方法などを学んでいましたが、卒業論文に生かせませんでした。それがすごく悔しくて、就職してからも、いつかは大学院へ行き、勉強し直したいと思っていました。今年の春、大学院に進むことができると決まり、オフロードのサイクルスポーツがどのように地域の役に



岩見沢市には、これまで3人の地域おこし推進員が就任し、任期終了後も岩見沢市に住み、地域を盛り上げる活動を続けている方もいます。
今月号は、今年5月に新たに着任した地域おこし推進員に、岩見沢を選んだ理由や活動の内容などを聞きました。
問合せ 企画室

地域に足跡を残したい

何度来て楽しめる

通常、自転車競技などでは、乗り手がコースに合わせてコースを攻略していくものですが、このコースのいいところは乗り手に合わせてコースを作れるところです。

オープンはしていますが、これから利用者の意見を聴き、レベルに合わせながら、常にコースの調整などをします。何度来て楽しめる場所だと思えます。そういう意味ではこのコースに完成はないのかもしれない。

コロナ禍でもできることを

地域おこし推進員になって、すぐにコースを作り、イベントを開催して人を呼ぼうと考えていましたが、新型コロナウイルスの影響で、人を集めるイベントなどができなくなりました。

その間、コース作りは進めていましたが、何かできることはないかと考えて、この地域の活性化に大学院で勉強している統計学を生かせられないかという研究を行っています。それを、今後の活動につなげたいと考えています。

瀬尾さんに聞く！

東部丘陵地域のおすすめ

東部丘陵地域は、見渡す限りの緑が魅力ですが、それだけではないと思っています。

例えば、ちょっと山の中に行くと、幌向ダムと親水公園があり、それまで緑に囲まれていたところに突然、水が広がっていて、ある意味で解放感を味わえる場所なんです。

キャンプやバーベキューができて、景色もきれいなのでおすすめです。

緑と水を両方楽しめるので、私もよくここで散歩をしています。



私は食いしん坊で、グルメが大好きなんです。東部丘陵地域には、パン屋さんやスープカレーのお店などのグルメスポットもあるんですよ

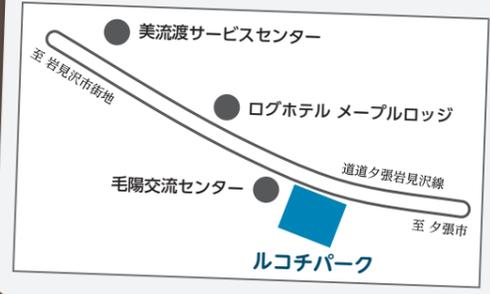


瀬尾さんが作ったBMXコース ルコチパーク



名称の由来
「ルコチ」はアイヌ語で「足跡」という意味。
この場所は、いろいろな動物の足跡が見つかることと、東部丘陵地域に「何か足跡を残したい」という思いが込められています。

場所 毛陽町 毛陽交流センター隣
利用料 無料
利用時間、利用方法などは瀬尾さんへ
☎ 080-6934-6828
Eメール rukochi.waiwai@gmail.com



初心者でも乗れるように、コースの山を小さく作っているので、安心して利用できます。上級者にはちょっと物足りないかもしれませんが。

普通の自転車だと、コースを走するのに必要のないものが付いているので、転んだ時にスタンドが刺さったり、ハンドルがお腹にぶつかったりしてとても危険なんです。専用の自転車の貸し出しをしているので、自転車を持っていない方も気軽に遊びに来てください。



初めてBMXに乗った利用者の感想
サドルに座ってこげないなど、普通の自転車との違いに少し戸惑いましたが、すぐに慣れました。アップダウンも小さくて、楽しくコースを回ることができました。また遊びに来たいです！



ゆったりとした時間

大学生の時に先輩を通じて知り合った人が、東部丘陵地域に住んでいた。その時からこの地域にはよく遊びに来ていました。

ここに来るたびに、時間の流れがゆっくりと感じられていい所だなと思っていましたが、住んでみると思っていた以上にゆっくりしてて驚きました。午前8時くらいに目が覚めてから、いろいろな準備をしてもなかなか時間が進まないんです。

札幌に居た時には、朝起きてから出社まで4時間くらいありました。が、一歩外に出るとたくさんの方が行き交い、いろいろな情報が飛び交っていて、あっという間に時間が経っていました。仕事を始めてから終わるまでも早く感じ、とにかく毎日忙しく過ぎていました。

ここに来たら、札幌とは違う景色の中で、1人や多くても5人程度で仕事をしています。午前10時から作業を始めて「今日は頑張ったな」と汗を拭いたが時計を見てみたら、まだ正午だったということがよくあります。

そんなのどかな雰囲気が、この地域の魅力の一つだと感じています。

きっかけの場所に

岩見沢にずっと住んでいる人は、この地域のことを知っていて、比較的遊びにも来ているように感じているので、岩見沢に住み始めた人や北海道教育大学岩見沢校に通う大学生に、この地域の魅力を伝えていきたいと考えています。

特に大学生は、通学路にあるものしか知らない人が多く、せっかく岩見沢の大学に通っているのにもっていないかと思っていました。岩見沢の全部を見て、そして気になる場所にも足を運ぶことで、地域の活性化にもつながると思います。そして、この「ルコチパーク」がそのきっかけの場所になれば嬉しいです。

地域おこし推進員は、それぞれが持つアイデアや技術で、地域のさまざまな魅力を発見し、情報の発信を行っています。
市は、これからも地域おこし推進員と協力しながら、地域の活性化に向けた取り組みを進めていきます。